



まちの話題



天候も良く多くの家族連れで賑わいをみせた

ゆ ふれあいフェスティバル るっと自然体験

岩手県立県南青少年の家で8月25日にみどりのキャンパス・ふれあいフェスティバルが行われました。県南青少年の家の豊かな自然を体験することができる人気企画の川遊び体験や森のたんけんごっこのコーナーでは、多くの参加者が体をいっぱい使って楽しみました。創作体験やものづくりブースでは、自分達でアレンジした素敵な作品ができあがり、夏の楽しい思い出が増えました。絵本読み聞かせブースや郷土芸能発表、ダンスなども好評で参加者は一日中笑顔で過ごしました。



高橋寛寿町長(右)に目録を手渡す丹治代表取締役社長(左)



通 小・中学生へクマ鈴寄贈 学時の安全確保へ

共栄運輸株式会社(丹治寛記代表取締役社長)は8月5日、頻出している熊への安全対策のためにと町内の小・中学生へクマ鈴を寄贈しました。夏休み中に各学校へ配布され、2学期から児童生徒の安全を守ります。

丹治代表取締役社長は「小・中学生の安全を守ることへ繋がって欲しい。町から熊の話聞き、クマ鈴を贈呈して地域貢献になればと思った」と述べ、高橋寛寿町長は「大変感謝申し上げます。町としても安全を確保する決意となったので、より一層努力していきたい」と話しました。



子 プレーワーク研修 子どもの遊ぶ力を育む

金ケ崎町主催で8月16日に三ヶ尻地区生涯教育センターでプレーワーク研修が行われ、保護者や地域住民が参加しました。子どもが主体的に遊ぶ環境づくりを活用した、地域による子育て支援の機運醸成やかかわる大人の技術習得を目指し研修が行われ、参加者たちは座学講座のほか実践演習で理解を深めました。



ロープワーク等の基礎的な技術体験を学ぶ参加者

職員の説明を聞いている子どもたち



地 「伝建群をあるいてみよう」 地域を知ろう!

西部地区生涯教育センター主催青少年事業で、8月8日に金ケ崎町伝統的建造物群保存地区散策が行われました。参加した小学生は職員やボランティアの説明を受けながら、伝建群を巡り昔の街並みの様子を学びました。参加者から「神社が楽しかった」「ふるさとのいろいろな場所を知ることができてよかった」等の感想がありました。

想 中高生による読み聞かせボランティア養成講座 思いを込めて伝える

8月2日と5日に「中高生による読み聞かせボランティア」養成講座が行われました。2日目の5日には南方幼稚園と金ケ崎保育園で実践演習が行われ、園児たちを前にそれぞれが選定した絵本を読み聞かせました。阿部陽月さん(金中3年)は「読む速さ、声の大きさを意識して練習した。園児が大きな声で反応してくれて嬉しかった」と話しました。



園児たちの反応を確認しながらわかりやすく伝える

交通死亡事故抑止1年間達成し、賞状を受け取る高橋町長



安 交通死亡事故抑止1年間達成賞賛状伝達式 安全な街づくり

交通死亡事故抑止1年間を達成したことにより、8月2日に岩手県警察本部長より賞賛状が授与され、8月6日に奥州警察署長から金ケ崎町長へ賞賛状が伝達されました。高橋寛寿町長は「多くの方の地道な努力があって、無事1年間達成することができた。今後も一日でも長く交通死亡事故防止とるように取り組みたい」と誓いました。